

# 部落であることの証明で さらなる差別記載の可能性

## 鳥取ループ裁判 第5回口頭弁論

6月26日、東京地方裁判所103号法廷において第5回口頭弁論がおこなわれ、県連から宮本書記長と福島常任をあわせ、全国から部落解放同盟はじめ支援者ら約100人が入廷した。

意見陳述の冒頭、指宿昭一・弁護士から被告の差別情報や個人情報のはらまきへの差別行為を指摘した。また、被告側からは、個人情報公開された人物が本当に被差別部落民である証明がなく、原告資格の有無についての疑問が指摘された。

口頭弁論のあとにおこなわれた報告集会で指宿弁護士から、原告側としては「本籍地記載の住民票」を準備しているもの、それを裁判所に提出することになれば、同時に、被告側にその情報が提供されることよって、さらなる差別記載となる可能性が考えられることから、慎重にとりあつかいたいとの意見がだされた。今後、意見陳述をもとに「証人喚問」をおこない、裁判をすすめていく方向であるということが指宿弁論

団から示された。今後、裁判所にたいし、部落関係者であることの証明を被告側に悪用されない範囲で証明することにあわせ、証人喚問による部落差別被害を訴えることによる裁判をすすめていくことが弁護士から報告された。第6回口頭弁論は、9月25日にひらかれる。

# 第62回 県連定期大会

6月4日におこなった県連大会に多くの来賓がかけつけ、メッセージをいただいた。来賓、祝電メッセージはつぎのとおり。

◆中央本部  
西島藤彦・中央本部書記長

◆国会議員  
岸本周平・衆議院議員

門博文・同議員、二階俊樹・二階俊博同議員秘書、上泰治・石田真敏同議員秘書、木野十三・浮島智子同議員秘書、福井康司・世耕弘成参議院議員秘書、須崎弘一・鶴保庸介参議院議員秘書

◆行政・議会  
下宏・和歌山県副知事、尾花正啓・和歌山市長

真砂充敏・田辺市長、上山章善・湯浅町長、坂口唯之・すさみ町副町長、和田年晃・和歌山市民環境局長、吉井和規・和歌山県議会議員、山本忠相・和歌山市議会議員、松本哲郎・和歌山市議会議員、吉本勸曜・岩出市議会議長

◆各種団体

小林茂・連合和歌山会長、田上武・部落解放・人権行政確立要求和歌山県実行委員会会長、安藤康志・和歌山同和問題企業連絡会代表幹事、赤松明秀・同和問題にとりくむ和歌山県宗教団連絡協議会議長、岡本啓亨・和歌山県職員労働組合執行委員長、和歌哲也・和歌山商工会議所理事、湯川恭英・和歌山県商工会連合会参与、川合廣征・近畿大学附属新宮高等学校・中学校校長、野口道彦・(一社)和歌山人権研究所理事、長田吉文・自治労和歌山県本部執行委員長、松本昇浩・J.P.労組和歌山連絡協議会議長、土井敏弘・和歌山県町村会事務局長

【メッセージ】  
愛知県連、静岡県連、大阪府連、兵庫県連、奈良県連、高知県連、香川県連、広島県連、山口県連、鳥根県連、佐賀県連

【祝電】  
◆国会議員  
二階俊博・衆議院議員、石田真敏・同議員、岸本周平・同議員、門博文・同議員、世耕弘成・参議院議員、鶴保庸介・参議院議員

◆行政・議会  
神出政巳・海南市長、平

木哲朗・橋本市長、望月良男・有田市市長、田岡実千年・新宮市長、中村慎司・紀の川市長、中芝正幸・岩出市長、寺本光嘉・紀美野町長、井本泰造・かつらぎ町長、岡本章・九度山町長、西岡利記・広川町長、久留米啓史・日高川町長、井潤誠・白浜町長、小出隆道・上富田町長、西前啓市・古座川町長、田嶋勝正・串本町長、服部一・和歌山県議会副議長、長坂隆司・和歌山県議会議員、野嶋広子・和歌山市議会議員、小川浩樹・田辺市議会議員、榎本鉄也・新宮市議会議員、浦中隆男・かつらぎ町議会議員、松本典久・湯浅町議会議員、榎原淳奈・広川町議会議員、溝口耕太郎・白浜町議会議員、山本明生・上富田町議会議員、寺町忠・串本町議会議員

◆各種団体  
安藤康志・和歌山同和問題企業連絡会代表幹事、野田拓也・日教組和歌山執行委員長、裏野勝也・和歌山県平和フォーラム代表、佐々木基文・高野山真言宗社会人権局長、奥田均・(一社)部落解放・人権研究所代表理事、谷川雅彦・同所長、松本吉弘・和歌山県隣保館連絡協議会会長  
(敬称略・順不同)

### 朝田教育財団 第35回 同和教育研修会に参加して

山本 敏明

朝田教育財団で毎年ひらかれる研修会に参加した報告を2回にわたり掲載する。

7月7日、京都で朝田教育財団の朝田善之助記念第35回同和教育研修会がありました。今回は中央本部の西島藤彦書記長の「『部落差別解消法』制定を踏まえた今後の課題」という内容の研修でした。車で第二京阪を走って京都市内に入ると、前の車が見得なくなる位の豪雨に遭いました。せつかくの七夕なのに織り姫と彦星も今年は大変だろうなとひやひや運転しながら考えていました。高速を降りると嘘みたいな小降りになり、会場である「こどもみらい館(京都市立子育て総合センター)」に時間までに着くことができました。受付を済ませ、開会を待っていると、財団の松井珍男子・理事長から和歌山から来たということ、で、わざわざあいさつにきていただき、恐縮しました。研修会は定刻の6時30分から、松井理事長のあいさつで始まり、朝田善之助記念館がこの秋に竣工の予定で、現在資料の整理がおこなわれています。故朝田善之助・元中央執行委員長は「三つの命題」などの解放理論を生みだし、「同対審」答申を出させ、特別措置法を制定させる大きな運動をおこした大先輩です。完成したならば是非行ってみたいと思いました。

西島書記長のお話は、自分の運動への関わりから話されました。京都府南部の部落に生まれ、青年期に解放運動に参加したこと、対策事業に関わりをもち、地域が見違えるように変わっていったのを目の当たりにしたこと、それは、部落だけのことではなく、周辺の社会資本(道路、下水など)も国の補助金で充実させてきたことも忘れてはならないことであるといわれました。(次号につづく)